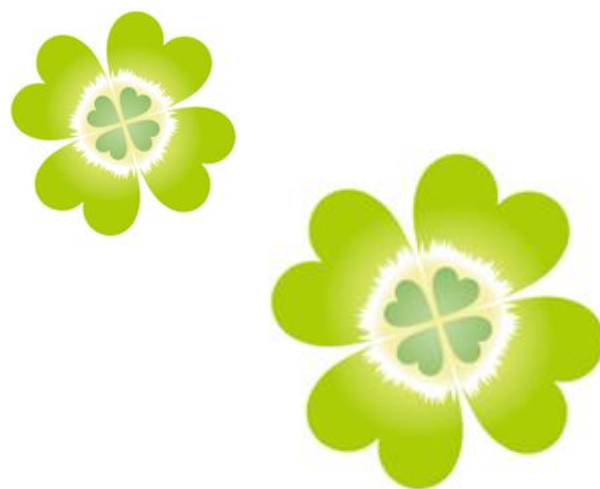


概要版

芦屋市 男女共同参画に関する市民意識調査  
調査結果報告書



平成29(2017)年3月

芦屋市

# I 調査の概要

この調査は、「第3次芦屋市男女共同参画行動計画ウィザス・プラン」及び「芦屋市配偶者等からの暴力対策基本計画」の見直しに当たって、市民の男女共同参画に関する意識や意見等を把握し、「芦屋市女性活躍推進計画」を含む今後の計画づくりのための基礎的な資料とすることを目的として、平成28年（2016年）8月、本市に居住する18歳以上の市民2,000人（男女各1,000人）を対象に実施しました。

	配付数	有効回収数	有効回収率
全体	2,000件	965件	48.3%
女性	1,000件	535件	53.5%
男性	1,000件	415件	41.5%

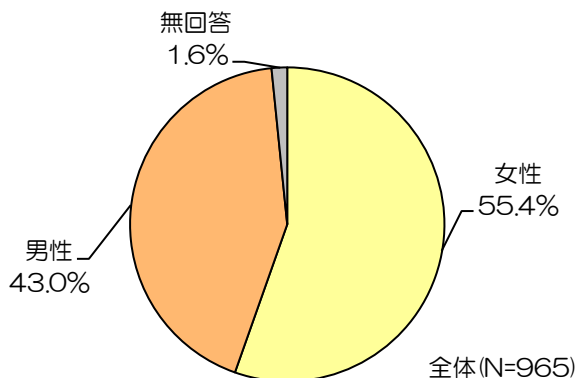
※有効回収数の全体には、無回答15件が含まれています。

※性別の選択肢は、「1. 女性」「2. 男性」「3. ( )」としましたが、3の回答は0人。

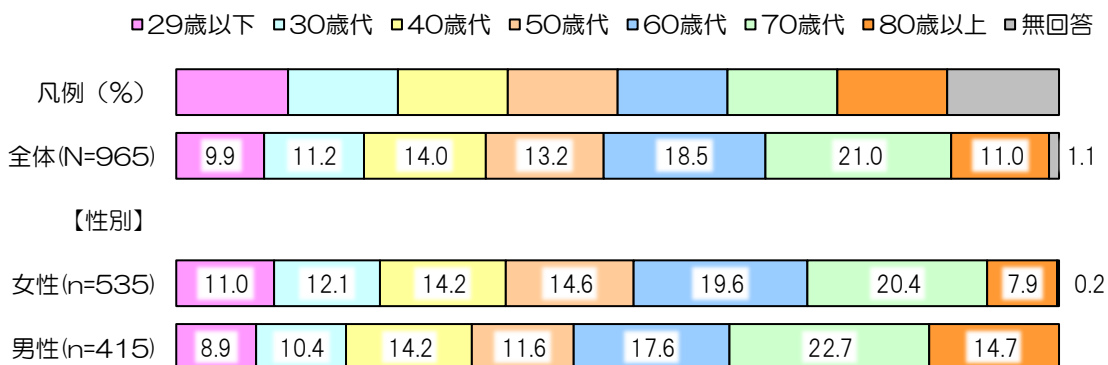
# II 回答者の属性

性別構成比は、女性55.4%、男性43.0%と女性が過半数を占めており、年代別構成は、70歳代が21.0%と最も高く、10歳代から50歳代の合計は5割弱（48.3%）、60歳以上が5割強（50.5%）を占めています。職業別構成比は、「主婦・主夫」が24.8%と最も高く、続いて「無職（23.4%）」、「正社員・正職員（常勤）（22.2%）」の順となっています。家族構成は、「二世帯世帯（親と子など）」が39.9%と最も高く、続いて「一世帯世帯（夫婦、兄弟、姉妹だけなど）」が37.7%となっています。

## 1 性別



## 2 年齢別構成

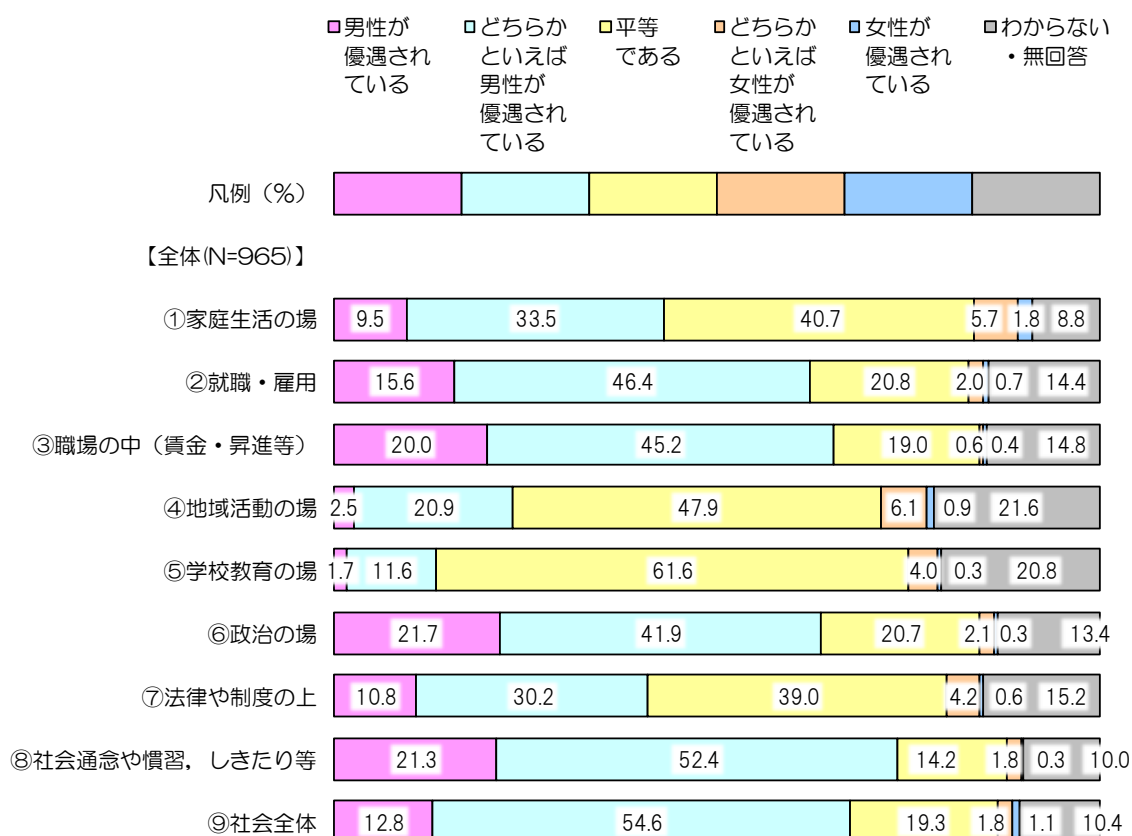


## Ⅲ 調査結果

### 【1】男女平等意識について

次の各分野における男女の平等意識について、「平等である」への回答をみると、「⑤学校教育の場」が61.6%と最も高く、続いて「④地域活動の場」(47.9%)、「①家庭生活の場」(40.7%)、「⑦法律や制度の上」(39.0%)の順となっています。

『男性優遇\*』意識の割合については、「⑧社会通念や慣習、しきたり等」(73.7%)、「⑨社会全体」(67.4%)、「③職場の中(賃金・昇進等)」(65.2%)の順に高くなっています。



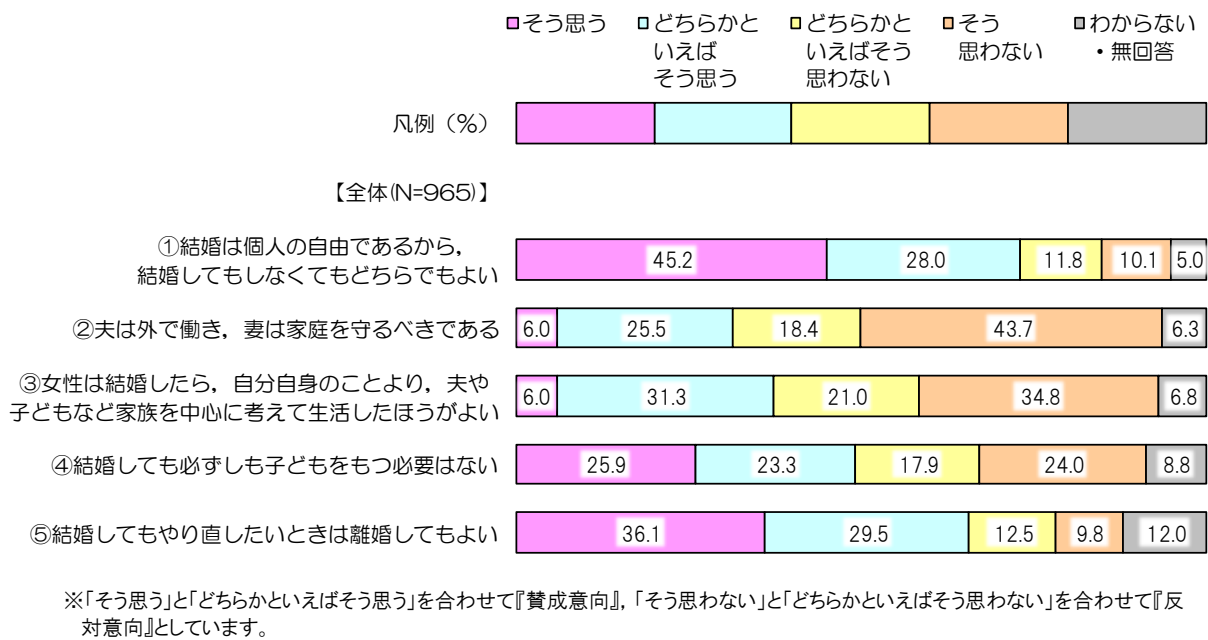
※「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせて『男性優遇』としています。

### 【2】結婚・家庭生活に関する考えについて

#### 1 結婚・家庭生活に関する考えについて

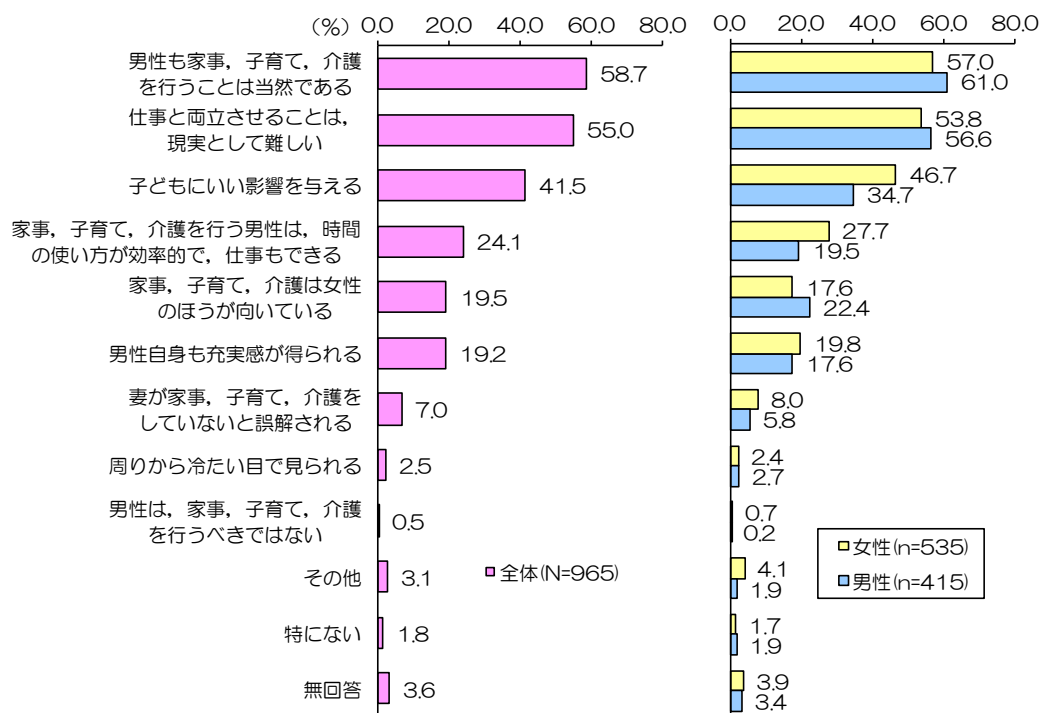
『賛成意向\*』の割合が高い順に「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」(73.2%)、「⑤結婚してもやり直したいときは離婚してもよい」(65.6%)となっています。

逆に『反対意向\*』の割合が高い順では、「②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」(62.1%)、「③女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい」(55.8%)となっています。



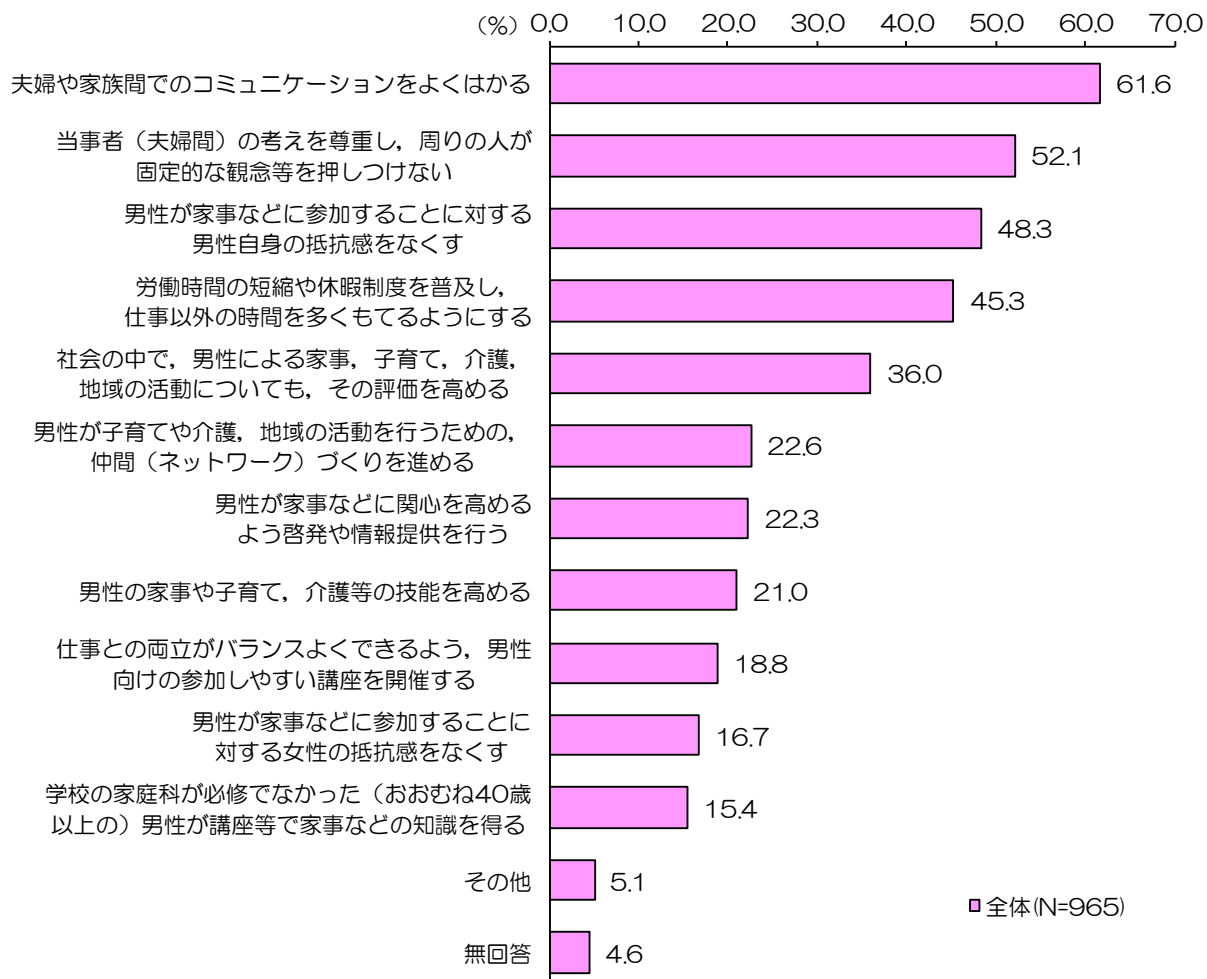
## 2 男性が家事や子育て等を行うイメージについて

「男性も家事、子育て、介護を行うことは当然である」の割合が58.7%と最も高く、次いで「仕事と両立させることは、現実として難しい」(55.0%)となっています。性別では、男性に比べて女性で「子どもにいい影響を与える」「家事、子育て、介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」の割合が高くなっています。



### 3 男性が積極的に家事や子育て等を行うために必要なこと

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」の割合が61.6%と最も高く、次いで「当事者（夫婦間）の考えを尊重し、周りの人が固定的な観念等を押しつけない」（52.1%）、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」（48.3%）、「労働時間の短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多くもてるようにする」（45.3%）の順となっています。

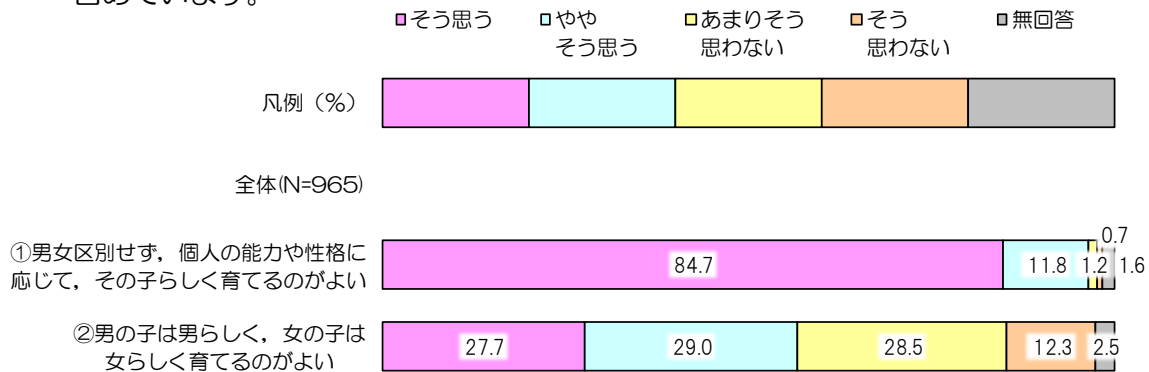


### 【3】子どもの教育について

#### 1 子育てについての考え方

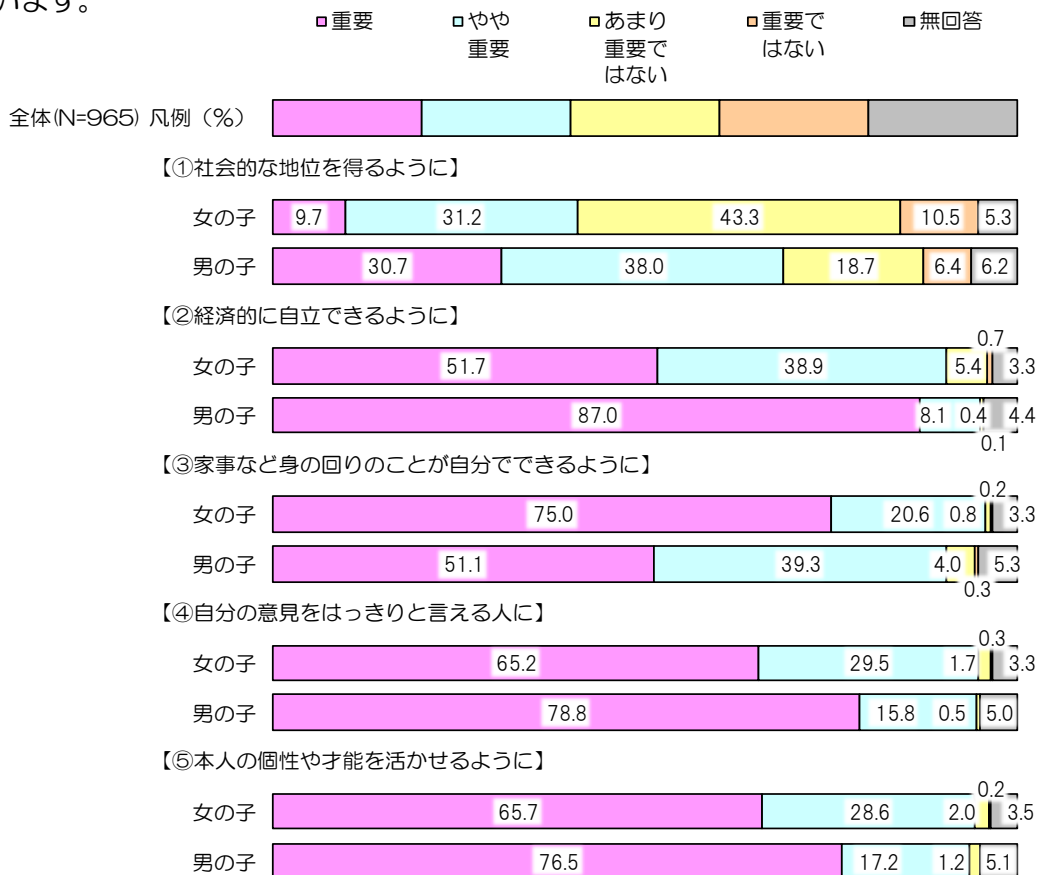
もし子どもがいた場合の、子育てについての考え方を聞いたところ、「①男女区別せず、個人の能力や性格に応じて、その子らしく育てるのがよい」は8割以上（84.7%）が「そう思う」と回答しており、「ややそう思う」（11.8%）を合わせると肯定派は96.5%になっています。

「②男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるのがよい」は、「ややそう思う」が29.0%と最も高く、「そう思う」（27.7%）を合わせると肯定派は過半数（56.7%）を占めています。



#### 2 子どもの性別による生き方の重要度

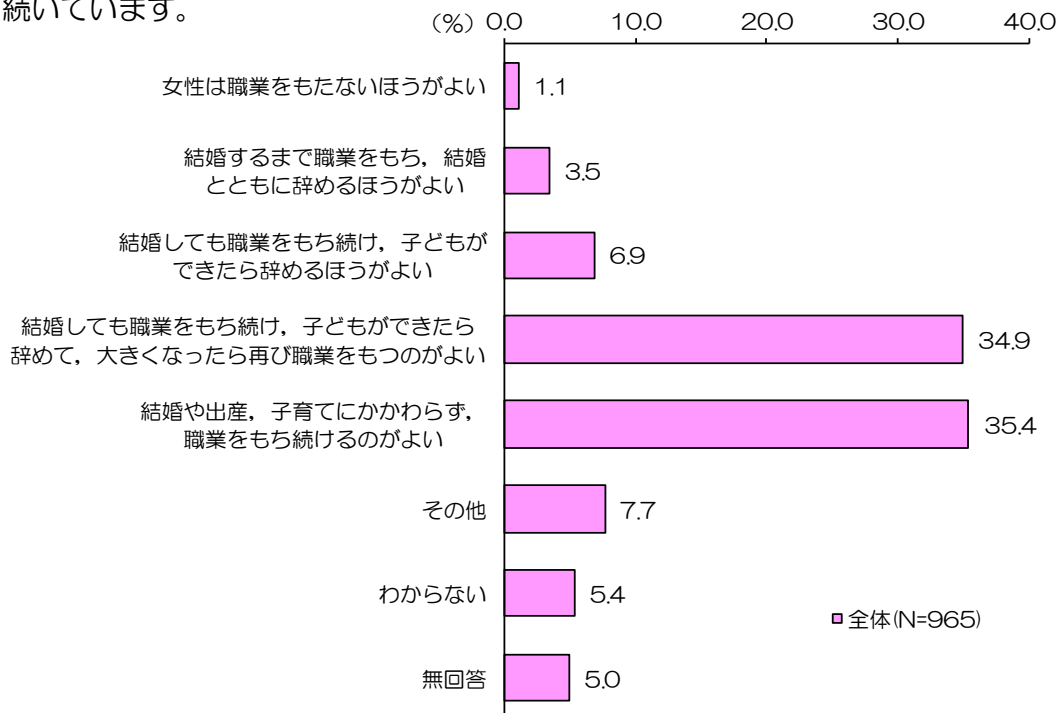
もし子どもがいた場合、子どもにはどのような生き方をしてほしいかを聞いたところ、女の子は「①社会的な地位を得るように」は「あまり重要ではない」の割合が高く、「③家事など身の回りのことが自分でできるように」を「重要」とする割合が高くなっています。一方、男の子は「②経済的に自立できるように」を「重要」とする割合が高くなっています。



## 【4】職業生活について

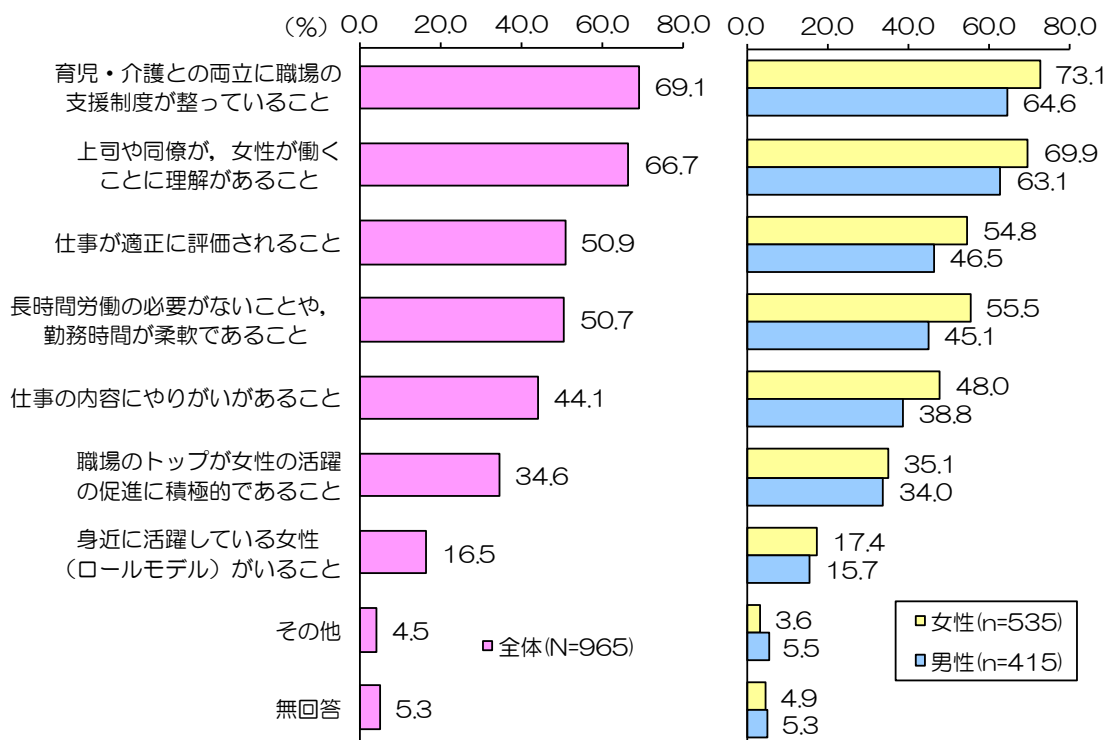
### 1 女性が職業をもつことについて

女性が職業をもつことについては、「結婚や出産、子育てにかかわらず、職業をもち続けるのがよい」の割合が35.4%と最も高く、ほぼ並んで「結婚しても職業をもち続け、子どもができたなら辞めるほうがよい」(34.9%)が続いています。



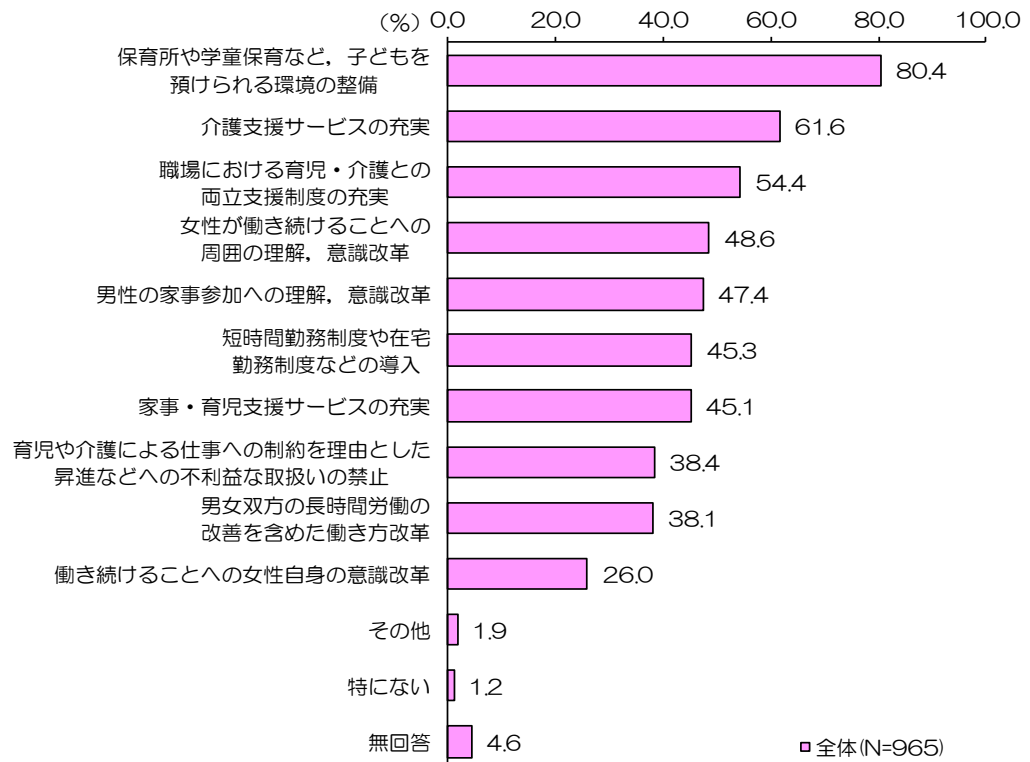
### 2 女性が活躍できる仕事・職場環境に必要なこと

「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること」が69.1%と最も高く、次いで「上司や同僚が、女性が働くことに理解があること」(66.7%)となっており、性別でも男女ともに、過半数を大きく上回っています。



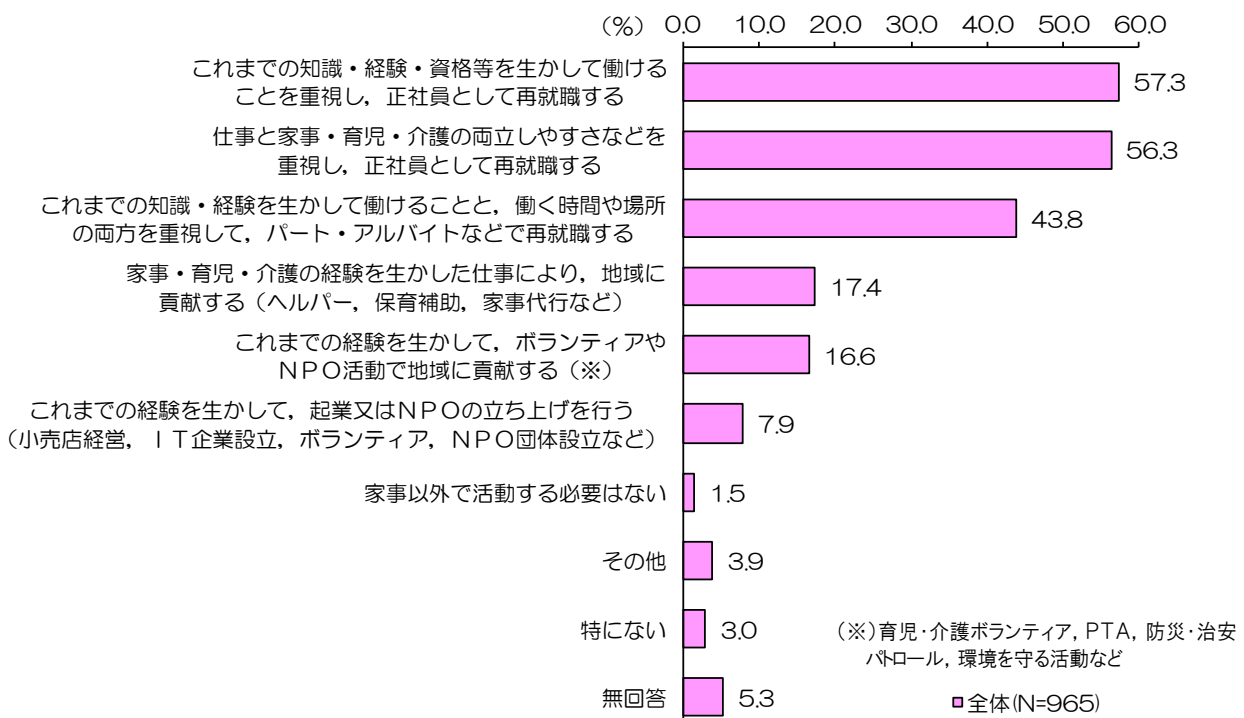
### 3 女性が働き続けるために必要なこと

女性が出産や介護による離職をしないで、同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことを聞いたところ、「保育所や学童保育など、子どもを預けられる環境の整備」の割合が80.4%と最も高く、次いで「介護支援サービスの充実」(61.6%)、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」(54.4%)の順となっています。



### 4 離職した女性の社会復帰について

再び社会で活動する仕方として、望ましいと思うものを聞いたところ、「これまでの知識・経験・資格等を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」の割合が57.3%と最も高く、次いで「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する」(56.3%)となっており、それぞれ過半数を超えています。

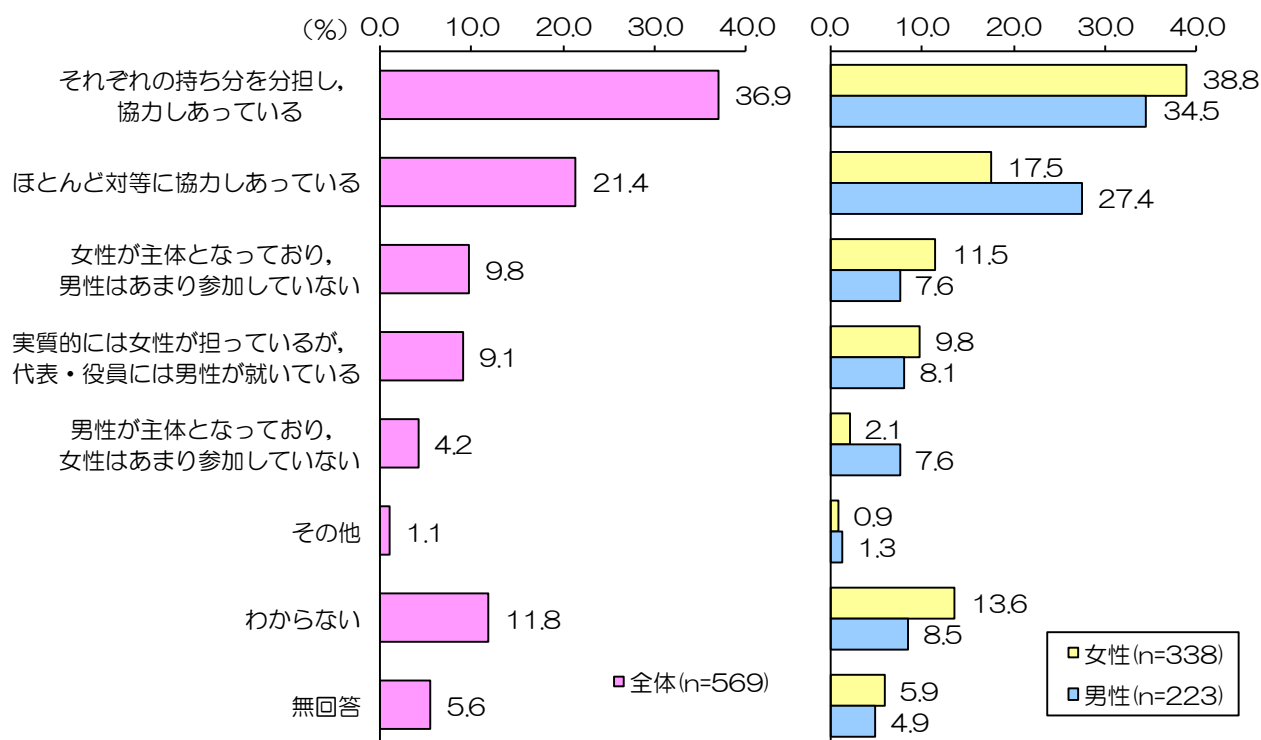




## 【5】市民活動における男女協力の状況について

地域での様々な市民活動において、男性と女性の協力は実際にどのようにされているか聞いたところ、「それぞれの持ち分を分担し、協力しあっている」の割合が36.9%と最も高く、次いで「ほとんど対等に協力しあっている」(21.4%)の順となっています。

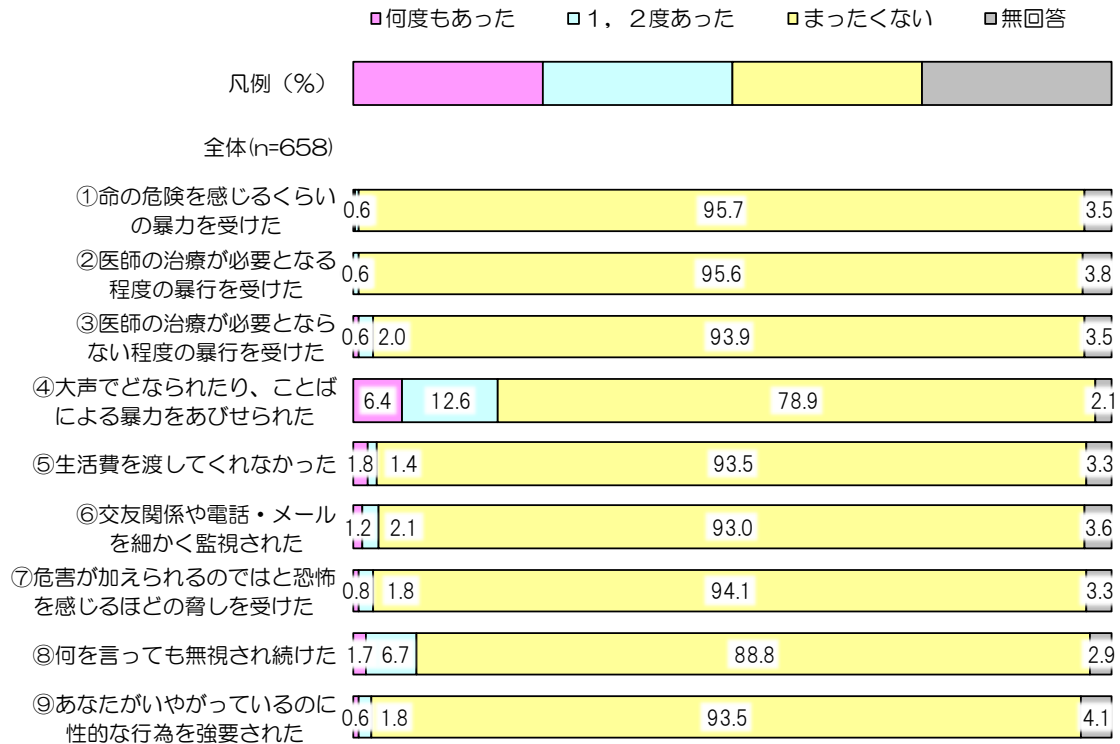
性別では、女性に比べて男性で「ほとんど対等に協力しあっている」が高く、性別による差が大きくなっています。



## 【6】配偶者や交際相手からの暴力等について

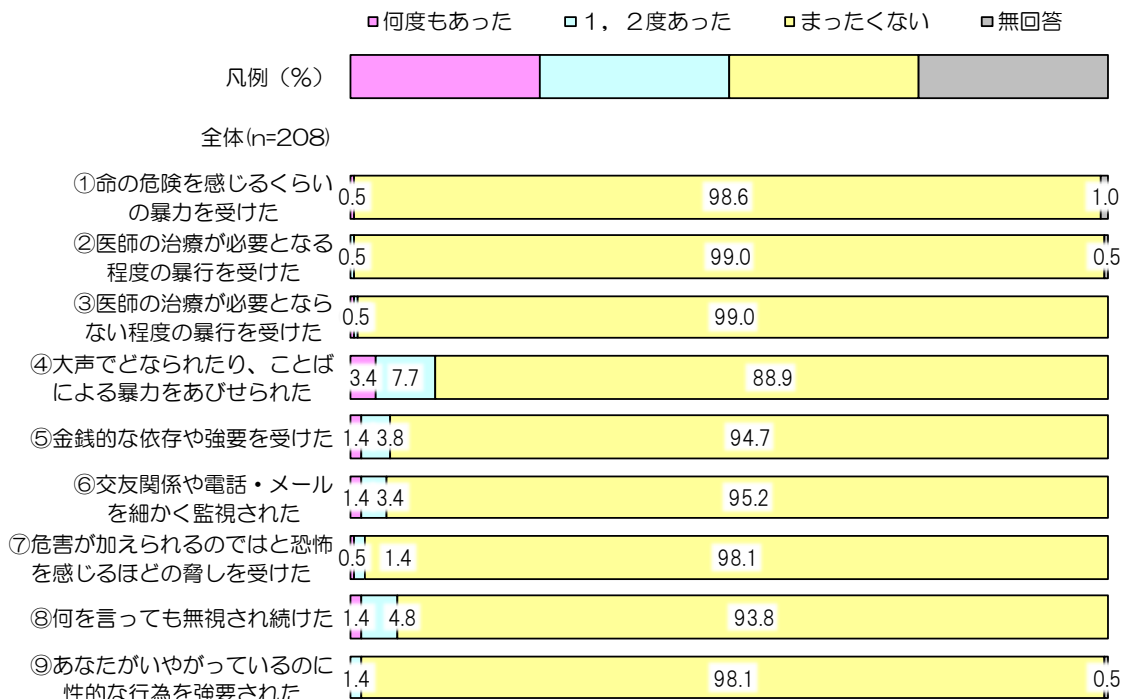
### 1 配偶者からのDV経験（過去5年間）について

「④大声でどなられたり、ことばによる暴力をあげせられた」で「1, 2度あった」の割合が 12.6%と高く、「何度もあった」(6.4%)を合わせるとほぼ5人に1人(19.0%)が経験したことがあると回答しています。



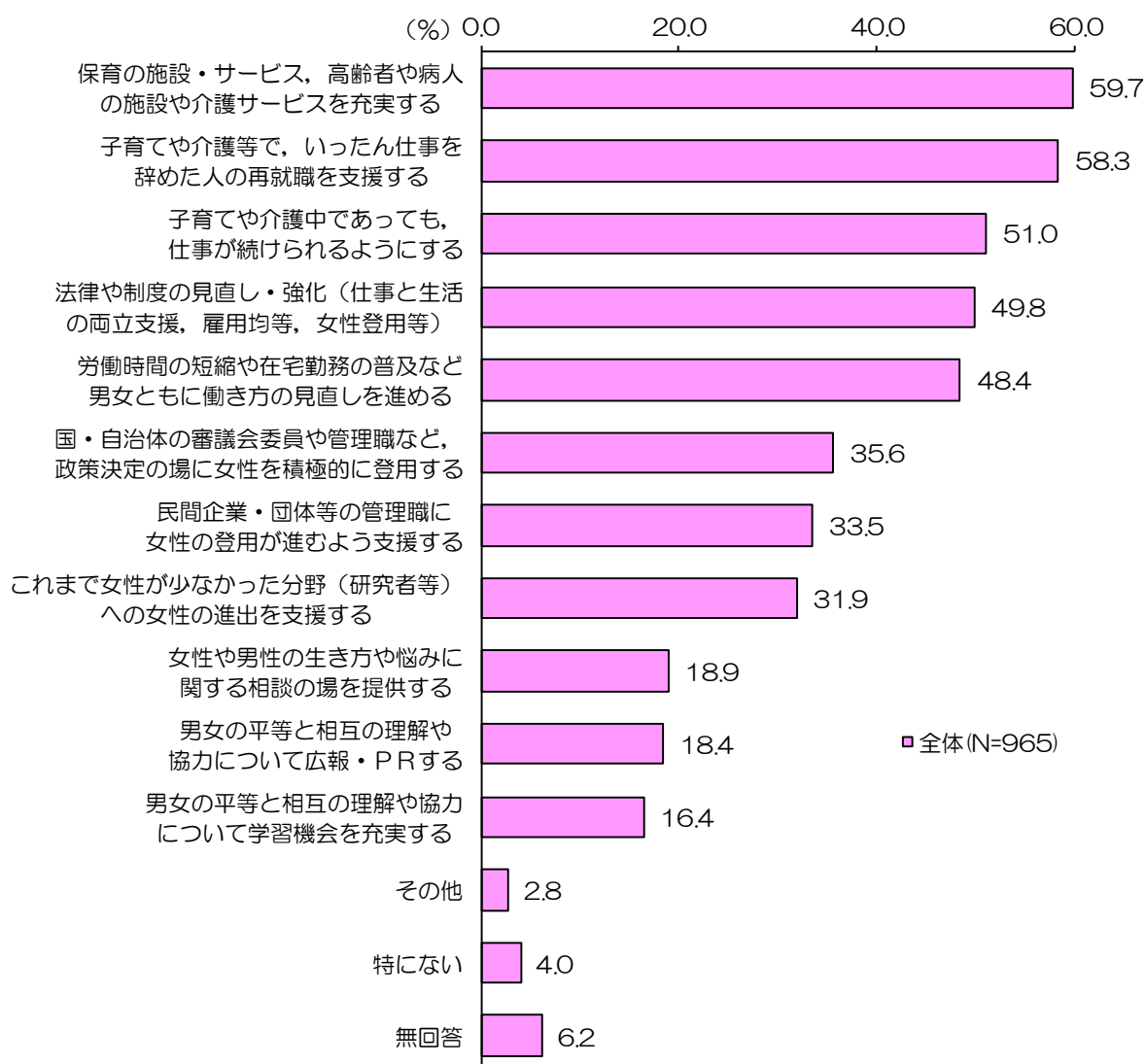
### 2 交際相手からのDV経験（過去5年間）について

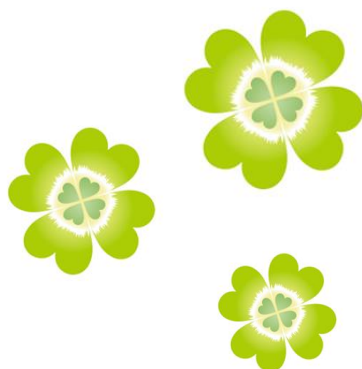
「④大声でどなられたり、ことばによる暴力をあげせられた」がやや高く、「1, 2度あった」(7.7%),「何どもあった」(3.4%)を合わせると約1割(11.1%)が経験したことがあると回答しています。



## 【7】男女共同参画推進にとって重要なことについて

「保育の施設・サービス，高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」の割合が59.7%と最も高く，ほぼ並んで「子育てや介護等で，いったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(58.3%)が続きます。以下，「子育てや介護中であっても，仕事が続けられるようにする」(51.0%)，「法律や制度の見直し・強化（仕事と生活の両立支援，雇用均等，女性登用等）」(49.8%)，「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」(48.4%)の順となっています。





**〔概要版〕 芦屋市 男女共同参画に関する市民意識調査  
調査結果報告書**

平成 29 年（2017 年）3 月

発行・編集：芦屋市 市民生活部 男女共同参画推進課

〒659-0065 芦屋市公光町 5 番 8 号

TEL 0797(38)2023 FAX 0797(38)2175

<http://www.city.ashiya.lg.jp/danjo/withus/shisaku.html>